

1コリント16：21-24

「最愛の主の御顔を拝する」

3/21/21

A. 「呪われる者」22a節

1. 「呪い」とは

2. 「呪われる者」とは

「呪いの生き方」をしている人々とは？

①「主を愛さない者」

1コリント12：3

②「主を憎む者」

ローマ1：21、28、30、ヨハネ3：19、20

③「主の敵」

●「その存在」詩篇68：1

●「世を愛する人」ヤコブ4：4

●「人間はみな神の敵として生まれた」ローマ5：10、マタイ25：41、黙示録20：10、15

B. 「再臨」22b節

この「主よ、来てください」とは、確かにギリシャ語で「マラナ・タ」と書かれてはある

1. 再臨への希望 1テサロニケ4：18

聖歌640「いつかはさらばと」

いつかは「さらば」と我が友すべてに、言うとき有りとも、我が心安し
御顔を拝して、我は告げまつらん 「恵みに我が身も贖われたり」と

2. 再臨への警告 2テサロニケ1：7、8

エゼキエル18：23-28

23 わたしは悪者の死を喜ぶだろうか。——神である主の御告げ。——彼がその態度を悔い改めて、生きることを喜ばないだろうか。24しかし、正しい人が、正しい行ないから遠ざかり、不正をし、悪者がするようなあらゆる忌みきらうべきことをするなら、彼は生きられるだろうか。彼が行なったどの正しいことも覚えられず、彼の不信の逆らいと、犯した罪のために、死ななければならない。25あなたがたは、『主の態度は公正でない。』と言っている。さあ、聞け。イスラエルの家よ。わたしの態度は公正でないのか。公正でないのはあなたがたの態度ではないのか。26正しい人が自分の正しい行ないから遠ざかり、不正をし、そのために死ぬなら、彼は自分の行なった不正によって死ぬ。27しかし、悪者でも、自分がしている悪事をやめ、公義と正義とを行なうなら、彼は自分のいのちを生かす。28彼は反省して、自分のすべてのそむきの罪を悔い改めたのだから、彼は必ず生き、死ぬことはない。

エゼキエル 33：11

彼らにこう言え。『わたしは誓って言う。——神である主の御告げ。——わたしは決して悪者の死を喜ばない。かえって、悪者がその態度を悔い改めて、生きることを喜ぶ。悔い改めよ。悪の道から立ち返れ。イスラエルの家よ。なぜ、あなたがたは死のうとするのか。』

C. 「最後のことば」23-24節

1. 主の恵み 23節

2. パウロの愛 24節